

シミュレーションへの活用や守備範囲の拡張で、さらなる生産性向上を狙う

**安** 今後の展望についてもお聞かせください。

**西** まずは生産性向上のためのシミュレーションでFLEXSCHEを活用していきたいと思っています。機関台の対応機種を増やした場合をシミュレーションすることもFLEXSCHEなら容易にできるので、FLEXSCHEを活用して会社の中期目標を達成するために必要な設備改造を明らかにすることで、効果的な改造計画を立案・実行していきます。

**安** 目の前の受注に限らず未来の注文予定に対してもFLEXSCHEを活用した改善を見込んでいるということですね。

**西** それと、現時点では新規受注のエンジンのみをスケジューリングの対象としていますが、過去に生産したエンジンの補用部品なども対象にしていきたいと思っています。どこまでをFLEXSCHEの守備範囲とするのか議論も必要ですが、可能な限り範囲を広げてより活用していきたいですね。

**安** ありがとうございます。FLEXSCHEが御社の業務改善に引き続き貢献できそうで安心致しました。今後も末永くFLEXSCHEをお使いいただければ幸いです。

お客様DATA

株式会社赤阪鐵工所

設立 1934年(創業1910年)

本社所在地 〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目4番1号 新国際ビル4階

資本金 15億1千万円

従業員数 282名

事業内容 船舶用ディーゼル機関の製造販売、 諸機械器具の製造販売

URL <https://www.akasaka-diesel.jp/>



大型船舶用エンジン 型式:6UEC35LSE-Eco-B2 の前で撮影  
株式会社赤阪鐵工所の皆様(左から 向島様、鈴木様、池谷様、中田様、桑原様、西川様)

"FLEXSCHE"および"フレクシェ"は株式会社フレクシェの登録商標です。  
その他、記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright (C) FLEXSCHE Corporation All Rights Reserved.

株式会社赤阪鐵工所

導入事例

生産管理部 工務・工程課 課長  
西川 智庸 氏

生産管理部 工務・工程課 副主任  
中田 亮 氏

生産管理部 工務・工程課  
鈴木 雄平 氏

総務本部 システム推進室 係長  
池谷 要 氏

短納期化、顧客要求の複雑化、  
迫るベテラン計画担当者の退職を機に  
蓄積されたノウハウをシステム化し、  
既存業務にメスを入れる

大型船舶用エンジンを開発・製造販売する船舶用ディーゼルエンジンメーカー、株式会社赤阪鐵工所。受注設計生産型の生産形態をとり、受注から設計、鋳造、機械加工、組立、アフターサポートまでの全ての工程を社内で一貫して行っています。そんな同社の長期かつ複雑な生産計画の立案は、ベテラン社員の蓄積されたノウハウに依存する「特別な仕事」とされてきました。

短納期化、製品ラインナップ複雑化、そして、ベテラン計画担当者の退職を背景に生産スケジューラの導入が検討され、「これはいける」と実感したFLEXSCHEを採用。FLEXSCHE導入による効果だけでなく、導入作業の中で得た気づきをもとに既存業務の改善にじっくりと取り組み、着実に成果を挙げています。

検討から導入に至るまで、そして今後の展望について、FLEXSCHE導入の中心メンバーにフレクシェ社の安広がお話を伺いました。



大型船舶用エンジン 型式:6UEC35LSE-Eco-B2

短納期化、製品仕様の複雑化等の課題に対応するため生産スケジューラを検討

**安広(以下安)** まず、赤阪鐵工所様の概要を改めてお聞かせください。

**西川(以下西)** 弊社は、船舶用のエンジンを開発製造するメーカーです。1910年創業ですから、昨年で110年となりました。元々は漁業の街である静岡県焼津で、エンジンの修理事業から始まった会社です。その後、焼玉エンジン、昔のボンボン船と呼ばれる船の動力機関として使われていたものを製造するようになりました。漁船、漁業の発展とともに事業を拡大していき、1937年にはディーゼルエンジンの製造に移行。さらに、貨物や石油を運ぶ商船分野にも進出していきました。エンジンの高出力化や小型化、低燃費化といった課題に挑戦し、時代の要請に応えた製品を製造し現在に至ります。創業者・赤阪音七の「決して、船主や乗組員に迷惑をかけるような機械をつくってはならない」という理念のもと『顧客第一主義』を貫き、徹底した品質管理とスピーディーなサービスをモットーに、お客様にお喜び頂けるエンジンと関連製品を提供しています。



株式会社赤阪鐵工所  
センタービル

